



「えがお まんかい!」

23P

明日へのコメント
紙から3D(立体)

10P

町政を問う
乗り遅れるなデジタル化

8P

要望決議
「新校舎を早く」等6項目

2P

新年度予算
ひと足早く無償に



3月会議

会議は6日から15日に開きました。
提案された議案は、条例改正案等6件、新年度予算案8件、令和4年度補正予算案6件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
ここでは新年度予算を紹介します。



1人あたり約6万円が0円に

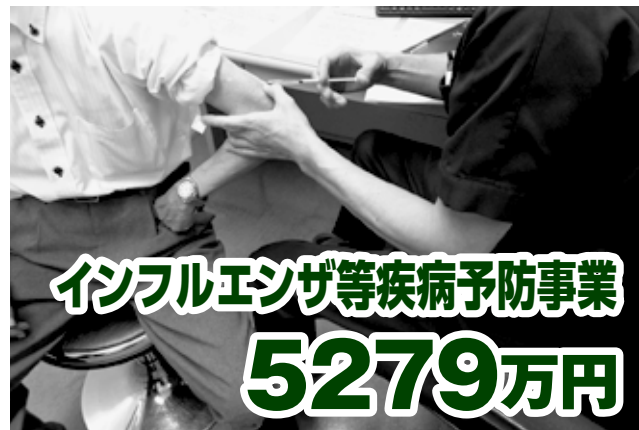


交通弱者支援
4693万円

- 婚活支援事業 130万円
- 妊婦産婦無料検診事業 401万円
- こども医療費助成事業 2000万円



町内産木材使用補助金
上限100万円



インフルエンザ等疾病予防事業
5279万円

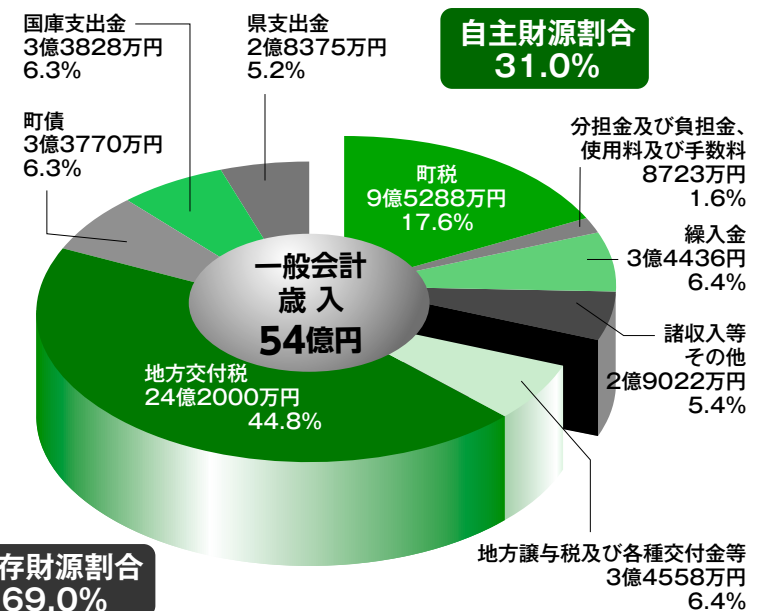
町内 小中学校

給食費

無償に



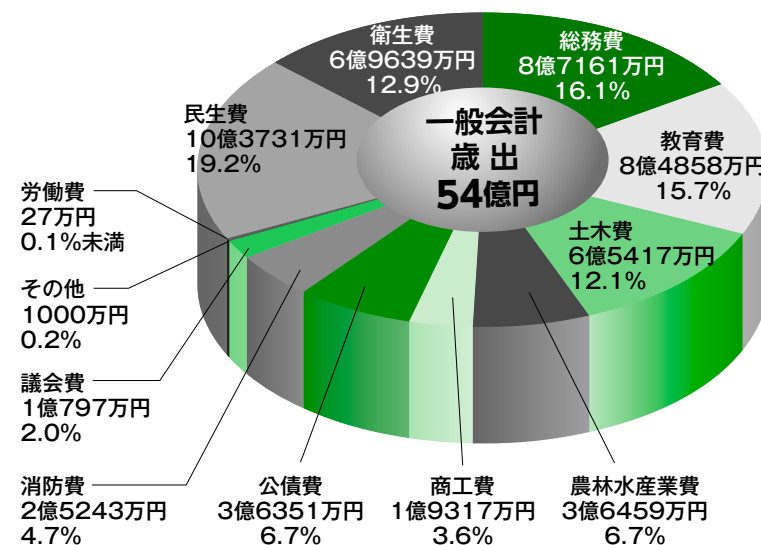
自主財源割合
31.0%



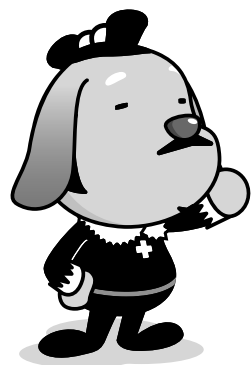
依存財源割合
69.0%

ポイント

- 自主財源**
- ・ふるさと納税1億5000万円を計上
 - ・コロナが落ち着き各家庭の所得回復を見込み町民税が前年度比増加他
- 町債**
- ・町が借りたお金の7割が交付税で措置される「過疎対策事業債※」を発行他



各会計予算	
一般会計	54億円
国民健康保険特別会計	12億2772万円
後期高齢者医療保険特別会計	9891万円
介護保険特別会計	11億5342万円
温泉事業特別会計	1393万円
公共下水道事業特別会計	6億7200万円
病院事業会計(3条)	8億8935万円
〃(4条)	1億1643万円
水道事業会計(3条)	2億6115万円
〃(4条)	2億1867万円
合計	100億5158万円



使い道は

予算審査 集中審議

特別委員会

令和5年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に神崎安弘委員、副委員長に佐藤清隆委員を選任し、3月10日から14日にわたり審議しました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。



神崎安弘委員長 佐藤清隆副委員長

講習会の反響は

遠藤美津子委員

問 町民を対象にインターネットを活用した講座を開催していますが、内容と反響は。

生涯学習課

答 コロナ禍でオンラインでの会議が増えたため、Zoom（ズーム）というアプリの使い方講座を開きました。28人の参加があり、「ウェブ会議を体験することができて良かった」と聞いています。今後も進めていきます。



▲どこにいても参加可能に



▲分別に協力を

負担が軽減されるのでは

沼田長一委員

問 家庭ゴミの「その他プラ」は、焼却炉の熱量を確保するため燃やしています。最終的に燃やしてしまうので、「もやせるごみ」とすればゴミの分別の仕方

答 「その他プラ」は、助燃材として、火力の確保、また、発電するための燃料として活用しています。なお、ゴミの分別の仕方は、仙南広域のルールに基づいて区分しています。

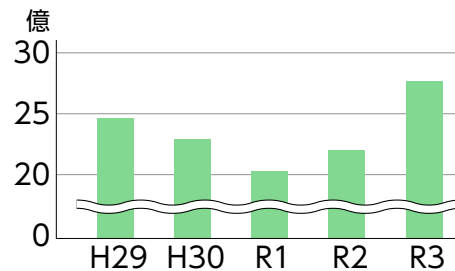
運用を強化すべきでは

的場要委員

問 近年、基金が20億円を割ったことがありません。引き続き運用を強化していくべきと考えますが。

総務課

答 定期預金と比べると、運用することで利益が生じています。しかし、運用は慎重にすべきと考えています。町長、会計課長等と協議しながら検討していきます。



▲基金の推移

安全対策は

遠藤美津子委員

問 コロナ患者用病床を2床設置されているが、一般患者との区別は。

国保川崎病院

答 病室を陰圧化して他の病室までウイルスが拡散しないよう対策を徹底し対応しています。安全に対応できるものと考えます。

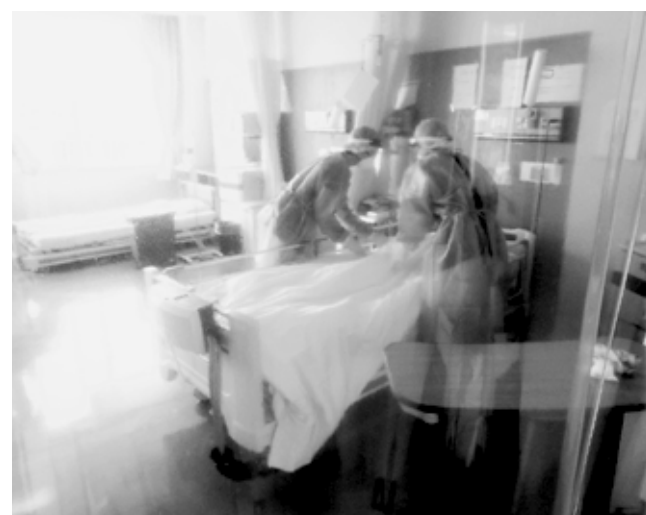
見込みが過大では

的場要委員

問 入院患者数を1日50人（利用率86・2％）と見込んでいますが、過大では。刈田病院などの影響は。

国保川崎病院

答 8月の院内クラスター発生前までは利用率が83・2％で、適正だと考えます。また、経営上影響を受ける可能性はあると思います。



▲引き続き対策を徹底



▲新車で運行開始

路線変更・廃止は

高橋義則委員

問 町民バスの路線変更や廃止は、どのように決めていますか。

町民生活課

答 毎年1回、町民バス運営審議会を開催し、そのなかで路線の変更や廃止を検討します。なお、その前段として、行政区長等から意見・要望を聞くようになっています。

組合の今後は

佐藤昭光委員

問 納税貯蓄組合が減少しています。高齢化などが原因なのですか。また、今後も減少していきますか。

税務課

答 3月に5組合より解散届が出ていますので38組合になります。高齢化による会計のなり手不足もあると思います。ほかの町でもすべて解散しているところもありますので、減少していくと思います。

ひきこもり対策は

遠藤美津子委員

問 こころの相談事業の件数とひきこもり対策は。

保健福祉課

答 延べ25件の相談がありました。高齢者も含め精神科等を受診するか、在宅の見守りかを見極める相談が多くあります。保健師も個別に寄せられた内容を専門医に相談し、対応に活かしています。

農地転用申請は

高橋義則委員

問 太陽光発電設置に関する農地転用申請件数は。

農業委員会

答 2カ月に1件程度の転用申請があります。また、設置場所は、町で指定している「農振農用地区域」や「10畝以上の集団の農地」では設置ができません。ほぼ毎日、事業者から設置有無確認の問い合わせがある状況です。



▲制度の積極活用を

対象を拡大しては

沼田長一委員

問 農家の労働力不足を補うため、認定農家を対象にシルバー人材センターの利用補助制度があります。対象を拡大する考えは。

農林課

答 当面は、認定農業者を対象とする考えですが、今後の普及状況を見ながら拡大するかどうか検討します。今後もPRに努めます。



▲設置が進む太陽光

産後ケア事業の推進は

佐藤清隆委員

問 ことも家庭庁が設置されるなか、子育て支援の一端として産後ケア事業利用推進が重要です。考えは。

保健福祉課長

答 昨年の10月から始めた産後ケア事業の利用促進は、子育て支援アプリや保健師等との接見を通して周知します。また、子育て世代包括支援センター窓口でも、パンフレット等を活用し丁寧につないでいきます。



▲子育てを応援



▲新たな学び場が待たれる

検討委員会のなかみ

沼田長一委員

問 学校建設検討委員会立ち上げの予算が計上されています。今後のスケジュールと小中一貫校の考えは。

町長

答 検討委員会を立ち上げ、1年ぐらいかけてスケジュールを決めていかなければならないと思っています。一貫校は実際に開設している現場に向き情報収集していきます。

子育て
少子化

3月14日、予算特別委員会最終日に総括質疑を行いました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

建て替えは

佐藤新一郎委員

問 学校給食センターの施設修繕が増額しています。建て替えの考えは。

学務課長

答 建物は30年経過していますが、不具合はありません。計上している修繕費は、食缶洗浄機に接続している浸漬装置やエアコン室外機などです。

結婚祝い金の増額は

遠藤雅信委員

問 結婚祝い金3万円を交付していますが、増額する考えは。

町民生活課長

答 結婚祝い金は平成27年度から実施しています。ほかにも補助している事業がありますが、全体の事業の確認も含めて検討します。

財源確保

財源確保のために

眞幡善次委員

問 ふるさと納税は自主財源として重要です。委託事業者や町内事業者と話し合いを実施しては。

地域振興課長

答 現在、事業所数は33事業所、返礼品目数は約120品目です。登録事業所や委託事業者と意見交換を行った上で対応します。



▲30年経過しているが...

総質

健康寿命延伸のために

遠藤美津子委員

問 町民の健康維持や健康寿命延伸のため、検診事業やワクチン接種などは重要です。新たな取り組みは。

保健福祉課長

答 健診の重要性やワクチンの有効性、早期発見、早期治療、早期予防を、地道ながら丁寧にPRしていくことが大切であると考えています。

デジタル化
防災対策

デジタル化推進は

沼田長一委員

問 マイナンバーカードの普及により町民の関心も高まり、デジタル化を加速する良いタイミングと考えますが。

町長

答 人口減少の問題をクリアしていくため、庁内にチームを立ち上げ、今やれることを新年度より早速取りかかりたいと思います。

防災の取組みは

遠藤美津子委員

問 新年度より個別避難計画を策定するとしています。町の防災指導員、自主防災組織の活動の充実が大切です。取り組みは。

総務課長

答 これまで同様に防災指導員の育成に取り組み、各行政区の地区防災組織の拡大など、各学校、関係機関と連携を強化します。また、必要な講習会などを順次行っています。

資源活用
健康維持

基金の使い道は

生駒純一委員

問 森林環境譲与税基金積立金の使い道は。

農林課長

答 町が私有林の所有者に意向を確認し、集積計画を検討しながら森林の経営管理を受ける場合に譲与税を活用します。針葉樹と広葉樹の混交林にしていることが最終の目的です。

町産木材利用促進は

佐藤清隆委員

問 町産木材利用促進住宅整備事業が新たに予算化されましたが、乾燥に時間がかかるなど、これまでの課題は解決されましたか。

農林課長

答 複数の民間事業者等へ調査し、製材した木材を機械で乾燥することにより、比較的短期間で使用できることを確認しています。



▲基幹産業も応援

湯量の安定確保を

大沼大名委員

問 青根温泉給湯管の老朽化で漏水があり、応急措置を講じています。点検調査を行い、湯量を確保すべきでは。建設水道課長

答 一番高い温度の「花房の湯」源泉で漏水が発生し、応急処置しています。今後、施設全体の点検調査を実施し、修繕や更新工事で湯量の確保を図ります。



▲誰もが健康で



▲日頃からの活動が大切

要望

議会から町へ

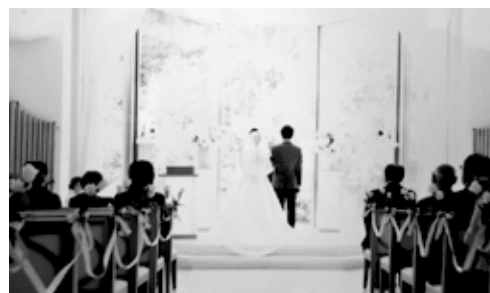
決議

予算特別委員会・総括質疑の中より重要な項目を議発案として取り上げ、要望決議として提出しました。

自主財源として**ふるさと納税**の重要性は共通の認識です。安定した財源を確保するために、町内事業者と意見交換するなど、新たな方策も検討してください。

マイナンバーカードの取得が増え町民の意識も高まるなか、**デジタル化**を進めるには良いタイミングだと考えます。行政事務はもとより住民生活の向上に資するよう、積極的に推進してください。

人口減少や少子化対策には、子育て支援はもとより**婚活事業**が重要です。従来の枠に捉われない積極的な取り組みや体制づくりに努めてください。



健康維持や健康寿命の延伸を図るため、**健(検)診事業**は重要です。町民に必要性・重要性を理解していただくため、周知方法などを検討してください。また、带状疱疹予防などの各種ワクチン接種率向上策も検討してください。

こども家庭庁の設置も踏まえ、一層、子育て支援対策・少子化対策も拡充されていきます。当町の子育て支援は充実していますが、昨年10月から取り組んでいる**産後ケア事業**の利用推進に努めてください。

(仮称) **学校建設検討委員会**が設置されます。町民の意見を聴きながら、社会情勢や人口推移をはじめ、あらゆることを想定し、教育環境整備に努めてください。



3月議会

環境も再エネも大切



説明義務等を設定

環境と再生可能エネルギー発電設備

設置事業との調和に関する条例

提案理由

関西電力による風力発電計画の経緯を踏まえ、新たに禁止区域を設けるなど、町民生活と再生可能エネルギー事業との調和が一層促進されるよう、条例の改正を行うものです。

住民等への説明

計画の届け出

保険・共済の加入

主な改正点

禁止区域の設定

提案理由

各種事業の精査に伴い各会計の予算を補正するものです。

会 計	補正額
一般会計	2905万円 減
国民健康保険特別会計	5302万円 増
後期高齢者医療保険特別会計	123万 増
介護保険特別会計	1718万円 減
公共下水道事業特別会計	1351万円 減
病院事業会計	1101万円 増
水道事業会計	364万円 増

令和4年度各種会計予算を補正

改正個人情報保護法が施行されたことにより、個人情報保護制度を法律に基づく全国共通ルールとするため、執行部と議会とで新たに条例を制定するとともに、現行条例を廃止するものです。

提案理由

町と議会で「個人情報保護条例」

出産一時金を増額

提案理由

健康保険法施行令の一部改正に基づき、国民健康保険税条例の一部を改正し、出産一時金の支給額を増額するものです。

出産一時金

40万8000円 ↓ 48万8000円

すべて可決

指定管理者 決まる

セントメリースキー場

提案理由

指定管理者の指定期間が、令和5年5月31日で満了することから、公の施設に係る指定管理の手續等に関する条例の規定により指定したいので、議会の議決を求めるものです。

指定管理者

株式会社ゆめらいず

代表取締役 鈴木章弘

指定期間

令和5年6月1日から令和7年5月31日まで(2年間)



まはた ぜんじ 議員
眞幡 善次



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 現状と今後の対応は

答 専属の職員を補強

【問】 国では、本年4月から「こども家庭庁」を新たに設置します。きめ細かな支援を進めるためには、町の体制が大切だと考えます。現状と今後の体制の考えは。

【答】 専属の職員を補強して対応していきます。

【問】 町の高齢化率も40%に迫り、少子高齢化が一段と進んでいきます。町の礎を築いた高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすには、高齢者福祉の充実が必要不可欠です。新たな施策の考えは。

【答】 町長

まず、高齢者の足の確保（交通支援）に力を入れます。また、「予防」を切り口に、健診等定期的な健康チェックの啓蒙と相談・指導をしながら、社会参加と生きがいづくりを発展的に進めていきます。

【問】 健全で安定した財政基盤を確立するには、いかに自主財源を確保するかが重要です。特にふるさと納税の拡充策が必要です。秘策はありますか。

【答】 町長

委託業者の意見を参考に返礼品の拡充を図り改善していきます。今後も検討を重ねながら、自主財源の増額を目指します。



▲子どもは町の宝

問 危機管理体制は

答 管理強化を図る

【問】 有事の際の心構えは、常日頃から考え、準備しておくかなければなりません。当町での災害や危機管理に対する心構え、現在の体制等についての考えは。

【答】 町長

大規模災害等では、町長を本部長として災害対策本部を設置し対応します。また、仙台管区気象台や県などの関係機関との連絡体制が整備されています。今後も危機管理体制の強化を図っていきます。



▲蔵王山も活火山



8人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 眞幡 善次 議員 11
 - (1) 施政方針について
 - (2) 危機管理対策について
- ◆ 佐藤 清隆 議員 12
 - (1) 全国体力テストの結果
 - (2) ロケ地誘致を
- ◆ 的場 要 議員 13
 - (1) デジタル化促進の体制は
 - (2) 婚活事業について
 - (3) 協働のまちづくりについて
- ◆ 佐藤 昭光 議員 14
 - (1) シルバー人材センターへの支援
 - (2) 情報公開条例の運用
- ◆ 神崎 安弘 議員 15
 - (1) 3期12年の自己評価は
 - (2) 防犯灯などの経費助成は
- ◆ 遠藤 美津子 議員 16
 - (1) 気象防災アドバイザーの活用
 - (2) 男性用トイレに設置を
- ◆ 高橋 義則 議員 17
 - (1) 学校給食に地場産食材を
 - (2) 肥料・飼料の高騰対策は
- ◆ 佐藤 新一郎 議員 18
 - (1) いつ設置する防犯灯

※アクリル板を設置し、マスクを着用しています。



さとう きよたか 議員
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

ロケ地誘致で町PRを

答

誘致に向け、連携強化

問 今後の誘致に向け
た取り組みは。

答 町長

制作会社などに知っ
ていただくことです。
令和4年度から賛助会
員となり、連携を強化
しました。また、作り
手の視点を持つため、
全国組織である「ジャ
パンFC」が開催する
認定研修に職員を派遣
し、連携を図ります。



▲町を知ってもらう機会に

問

全国体力テストの結果は

答

一部を除き、平均より下回る



▲日頃から体を動かして

令和4年度の全国体
力・運動能力、運動習
慣等調査（全国体力テ
スト）の結果が公表さ
れました。県内の児童
生徒は調査が中止に
なった令和2年度を除
いて、3年連続で低下
しています。

問 町内の児童、生徒
の体力テストの結果は。

答 教育長

8種目の体力を測定
し、筋力や持久力など
の体力要素を測定しま
す。その結果を全国平
均、県平均と比較しま
した。町内の児童生徒
は、小学生の男女、中
学生の男子で下回り、
中学生の女子は上回っ
ています。

問 現状をどのように
捉えていますか。

答 教育長

小学校・中学校等の
校種や性別によって、
全国平均を上回る種目
下回る種目に違いがあ
りますが、共通して全
身持久力を必要とする
ポイントが下回ってい
ます。要因を探り改善
に結びつけられないか
と捉えています。

問 向上させる取り組
みは。

答 教育長

各学校が自校の結果
を踏まえ、体育の授業
で柔軟性や持久力など
を高める運動を積極的
に取り入れることも必
要と考えます。また、
仲間と競い合う、協力
して成し遂げるなど、
向上心を育む取り組み
も大切にしていきます。

問

デジタル推進チームを

答

早速立ち上げ取り組む

岸田政権の2023
年度概算要求では、デ
ジタル関連予算が約
1.2兆円と報道があ
りました。今後、国・
県からのデジタル関連
の支援は多岐にわたる
ものが考えられます。

問 担当課の職員を中
心に知識のあるメン
バーを選抜し、「デジ
タル推進チーム」を立
ち上げてはいかがです
か。町にとって、有効
なデジタル関連の補助
事業を早期に申請でき
る体制づくりが必要だ
と考えますが。

答 町長

デジタル分野は単な
るアイデアや知見とい
うことではなく、特殊
な知識が必要とされま
す。早速これまでの担
当者などに声がけをし
てチームを立ち上げ、
優先順位を明確にして
取り組んでいきます。

問

婚活は非常に大切な事業

答

二本柱で実施したい

問 婚活事業は、人口
減少が続く当町にとつ
て非常に大切な事業で
す。新型コロナウイルス
スから類に位置づけら
れた後の状況を踏ま
え、前向きな協議が必
要と考えますが。

答 町長

令和2年3月以降休
止していましたが、今
来年度はこれを実施し
なければならぬと考
えています。具体的
には、イベントの再開、
これに加えて婚活サイ
トの有効活用、この二
本柱で実施したいと思
います。

問 全庁で取り組んで
いく事業であるという
意味合いも含めて横断
的なチームが必要で
す。人口減少対策、少子化
対策、さまざまな分野
に波及効果があると思
えますが。

答 町長

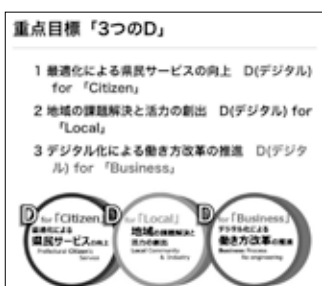
さまざまなアイデア
を取り入れ、今までの
やり方と新しい面の両
方で試していきます。
子育て支援の前には
婚活を進めていき
たいと思います。



まとう かなめ 議員
の場 要



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲県もデジタル化を重点施策に



▲婚活事業の二本柱に期待

問

町民の意見を聞く機会を

答

多くの方と意見交換を続ける

その他の質問事項



さとう しょうこう 議員
佐藤 昭光

質問・答弁の動画は
←こちらから

問 職員を一人派遣させていますが、仕事の内容と期間は。
答 町長 会員募集や営業など運営全般に携わっています。派遣は令和5年度で終了したいと思っています。

問 10月にインボイス制度が導入されます。消費税の免税業者にも大きな影響が出そうですが。
答 町長 制度が会員に過度の負担とならないよう、事務手数料を増額改定して財源を工面していく方向です。今後、町の補助だけに頼らない、持続可能な運営をお願いします。

問 情報公開請求なぜ制限
答 町民ではないと判断

シルバー人材センターは一線を退いた方々に臨時・短期で働く喜びと地域社会への貢献の場を提供する、有意義な組織です。支援について伺います。

問 人材センターへの支援は

答 職員派遣は5年度で終了

問 令和3年度は1050万円の町補助金を受けながら、440万円の赤字に。補助金があれば赤字ですか。
答 町長 国の補助金要件をクリアして町と国から計1924万円の補助金があり、なければ1484万円のマイナスです。



▲自立自尊を目標に

問 今後の改善点は。
答 保健福祉課長 現在の就業率は80%。残る2割の人に仕事をしたいための請負先探しが課題です。

問 この記者は町内に廃屋を所有しているとのこと。税金の支払いなどを考えると十分に利害関係が考えられますが。
答 町長 条例上、納税者でも「請求内容に直接関係ない町外に住所を有する人」は請求者に当たらないと判断しました。

新聞記者の情報公開請求に対し、当町が「町内に住所を有する者」など条例の条文を理由に制限した、と報道がありました。

問 県内中学校の総合体育大会の経費徴収実態を調べるための請求です。公共性があり、協力できたのでは。
答 町長 町民ではないとの判断の基、対応しました。

問 制限を残しているのは県内35市町村では当町など5町だけ。条例見直しの考えは。
答 町長 現状を確認し議会と相談しながら、変えるべきところは変えていきます。

問

3期12年の自己評価は

答

施策・事業は実施できた

平成29年6月と令和元年6月に、これまでの町政運営に対して検証、課題、今後の方針など自己評価を確認してきました。最重要課題として、「人口減少」と答弁されました。

問 3期目4年間の取り組みと自己評価、12年間の総合的な評価は。
答 町長 コロナ対策に全力で取り組みました。ワクチン接種環境整備を図り積極的に奨励を行ってきました。総合的に施策や事業は実施できたものと思います。



▲ひさびさのまちづくり懇談会

問 課題は。
答 町長 「人口減少」と「少子化」が中心と捉えています。

問 婚姻率向上を図る施策が必要では。
答 町長 婚活事業に取り組んできましたが、あまり成果があがっていないことも事実です。これまでに以上に取り組んでいます。

かんざき やすひろ 議員
神崎 安弘

質問・答弁の動画は
←こちらから

婚姻率向上を図る施策が必要では。
答 町長 婚活事業に取り組んできましたが、あまり成果があがっていないことも事実です。これまでに以上に取り組んでいます。

問 町外から就労者を呼び込む環境づくり、企業誘致が必要では。
答 町長 企業誘致は大切です。町内の企業を訪問し意見交換したところ、人手不足で求人を出しても集まらないのが現実です。町内でも働く場所があることを町民へ伝えながら、地元で働いてもらえるよう支援したいと思っています。

問 行政区の負担軽減を

答 調査し、検討する

問 各施設は避難所の役割もあることから、行政区、集落の負担軽減を図るべきと考えますが。
答 町長 物価上昇率は、電気料金で21・3%となっており、本年4月から値上げを公表しています。行政区長と協議し方針を決めていきます。

問 地区でも高齢者世帯も多くなり負担増となります。実態を調査把握し、上昇分などへの補てんを検討すべきと考えますが。
答 町長 実態を調査し、検討していきます。



▲防犯と経費負担のハザマ



たかはし よしのり
高橋 義則 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

施政方針で、町内小
中学校の学校給食費を
4月から無償にするこ
述べました。物価高騰
により家計に影響が続
くなか、とても良い支
援策だと思います。

答

米は川崎産ひとめぼれ

問

地場産食材の活用は

問 食材はどのように
調達していますか。

答 教育長

米は川崎産ひとめぼ
れを調達し、野菜は町
内の青果店を通して大
半は市場から仕入れて
おり、一部を町内生産
者から購入しています。
肉や魚、調味料などは
給食用食材を扱う業者
から調達しています。



えんどう みつこ
遠藤 美津子 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

近年、温暖化による
気候変動から激甚災害
が多発しています。令
和元年の台風19号では
記録的な大雨により河
川の氾濫や土砂災害に
見舞われました。



▲大きな災害に備えて

※気象防災アドバイザー
とは…地域に精通した気象
の専門家で、地方公共団
体をバックアップします。
気象防災アドバイザーを
活用している地方公共団
体では、アドバイザーの
助言を基に早期に避難情
報を発信し、死傷者が出
るのを防いだ事例もあり
ます。

問 今後は災害等の予
測や防止、避難など、
気象防災アドバイザー
の活用が対策の一助に
なると考えますが、

答 町長

アドバイザーの業務
内容は、自治体職員等
を対象とした勉強会、
ワークショップ、避難
計画策定や防災訓練の
協力など多様な支援を
行っています。他の自
治体の事例を参考に、
必要性について検討し
ていきます。

問 第6次長期総合計
画書の重点的取組施策
の中に、「防災体制の
充実、防災活動への参
加促進、地域や学校で
の防災意識の向上」等
が示されています。専
門家の知見を活かす考
えは。

答 総務課長

今後、多方面からさ
まざまな情報を仕入れ
まして気象防災アドバ
イザーの助言が必要と
判断される場合は活用
させていただきます。

答 町長

実のある計画をつく
るためには、さまざま
な分野の方々の意見を
聞かなければなりません。
改めて深く検討し
ていきます。



▲安定供給できれば…

問 町内からの供給量
少ないようですが、何
が原因ですか。

答 教育長

米は8月下旬から
1月末まで80俵を消費
し、町内産の野菜は令
和3年度実績で7品目
146キ、市場を通し
て9100キ、町内の
野菜供給量は重量換算
で1・6%です。必要
な時期に安定的に確保
できるかが要因です。

問 安定的な納入体制
の構築が重要であり行
政の関わり、協力が必
要です。地場産食材活
用の取り組み方法は。

答 教育長

これまで農林課の仲
立ちで野菜を提供して
もらう機会がありまし
た。今後も連携を拡充
するとともに農家の皆
さんとの意見交換を通
して、地場産食材の調
達に結び付けていき
たいと考えます。

問

堆肥の利用拡大を

答

成分分析の一部を支援



▲資源循環型農業を

問 堆肥の利用は、循
環型農業を進めるうえ
で大切です。農家の調
整役として町の関わり
が大切と考えますが。

答 町長

自ら生産する堆肥の
成分を把握し提供して
いくことで、堆肥活用
の拡大や資源循環型農
業につながります。肥
料等の高騰で安価な堆
肥が注目されています
ので、引き続き意見交
換を行い検討していき
ます。

問 堆肥と化学肥料を
併用することで低コス
ト化につながります。
このような取り組みの
考えは。

答 町長

堆肥の成分が不明だ
と肥料設計に対応でき
ないことから、畜産農
家が堆肥の成分を分析
し、購入者に明示する
ことが重要です。成分
分析経費の一部支援を
令和5年度当初予算に
計上しています。

問

公共施設に設置を

答

早急に対応する

問 民間製薬会社によ
る調査では、40代から
70代の男性の約8人に
1人が尿漏れに悩むと
の結果でした。公共施
設のトイレにサニタ
リーボックス※の設置
を検討すべきでは。

答 町長

設置を望む方々が
いるのであれば、公共施
設の男子トイレにサニ
タリーボックスを設置
することについて、早
急に対応していきます。



▲男女問わず

※サニタリーボックス…生理用品や尿漏れパッドなど「トイレに流せないゴミ」
を捨てるためのもの。



さとう しょうこう 議員
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は
←こちらから

以前の質問確認したい!!

追跡質問

問 整備完了、なお危険では

答 出水のたびに巡回して監視

問 火の塚山河床路が3月末完了と聞き、現地を視察しました。下流の玉砂利の高さなど、まだ危険なのでは。

答 町長 河床の整備は完了です。県土木事務所によると、河床の土質などを考慮して仕上げたということです。



▲ひと安心のようだが…

問 河床路の下側部分もえぐれたままで、心配はないのですか。

答 町長 今後の整備予定はありませんが、河川管理者の県が出水のたびにパトロールして、施設の状態を注意しながら監視していくことになります。

問 今後は県所有の構造物になるそうですが、町の関わりは。

答 町長 町民から相談があれば丁寧に対応していきます。



▲間隔を空けて

議会の傍聴を再開しました

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年3月から議会傍聴の自粛をお願いしていましたが、令和5年3月から人数を制限して再開しました。3月会議を傍聴された方からのアンケートの一部を紹介します。



50代男性

■傍聴のきっかけ
町議会の活動や町政に関心があった。

■自由意見
やはり直接議会を傍聴することはいいことだと思います。



40代男性

■自由意見
傍聴の再開ありがとうございます。ネット中継にはない臨場感があり良いと思います。

■今後傍聴は是非傍聴したい。

傍聴された方だけではなく、ライブ視聴された方からもご意見を募集しています。皆さんのご意見をお待ちしています。

■ご意見・お問い合わせはこちらから



問 いつ設置する防犯灯

答 各区長とよく相談して

国道457号の朴ノ木・本砂金間約1.5キロ、釜房ダム堤体から秋保温泉方面に向かう県道は、急勾配とカーブの連続です。事故や犯罪防止のためにも再度、防犯灯の設置を求めます。



▲暗い夜道は怖い

問 双方の道路とも、仙台市側は防犯灯があり、当町側は真っ暗です。状況をどのように捉えていますか。

答 町長 資材や電気料金の高騰、地元行政区の意向を踏まえ慎重に検討していきます。

問 防犯灯の設置について、行政区長などと相談しましたか。

答 町長 当時の川内二行政区長に相談しました。費用負担もあるので、当面の状況を見定めて検討することになりました。

問 国道には電柱がないが、県道は許可を受ければ電柱を利用して設置が可能ですか。

答 町長 川内二行政区より、今年1月に溜水から丸森山に向かう農道と国道の交差点付近数百メートルに防犯灯設置の要望があり、既存の電柱に設置する予定です。ご指摘の箇所も行政区の意向を尊重しながら対応します。

問 川内二行政区は56戸に対して52基の防犯灯があり安心していただけます。LED化で電気代は安くなっています。双方の道路に設置する考えは。

答 町長 区費を負担したくないという人たちも増えていて、防犯灯を間引きしてほしい、撤去費用を町で負担してほしい、という行政区もあります。住民の合意がなければなりません。



▲事故や犯罪が起こる前に

問 暗い夜道を仙台方面に通う町民の中には、働いて収入を得て、税金を払っていることも考えていただきたいのですが。

答 町長 維持するのは行政区なので、町も少し電気代を出す必要があるのかも含め、各区長と意見交換していかねばならないと考えています。

問 この両区間は町が電気料金を負担してでも設置しては。

答 町長 税金をいただいているということ、また別枠ではないかということも踏まえながら検討していきます。

総務民生常任委員会

調査日 2月17日

各種イベントの実施状況

引き続き感染対策を

【調査結果概要】

支倉常長まつりは3年ぶりに開催し、事業費387万円、来場者は約3000人です。

子どもたちの出演で家族全員の参加につなげ、各地域の武将隊や尚綱

学院大学などの参加により新たな客層の取り込みを図っています。

また、常長音頭にはベトナム人研修生も参加しています。

古賀政男顕彰会・青根温泉感謝祭・古賀メロディーコンサートは

4年ぶりに開催し、事業費216万円、来場者は、感謝祭が約1600人、コンサートが約200人です。

そのほか、アラバキなど7つのイベントに町民と参加し、町のアピールに努めています。



▲今年ももっと盛大に

【委員会意見】

支倉常長まつりを始めとした各種イベントは、出演者や来客の感染対策を講じたことから、以前と同規模での開催となり成果を上げることができたと確認しました。しかし、イベントは休日開催が基本となり、引き続きの感染対策などから、多

くのスタッフが必要となります。同じ職員が複数回参加することも想定されますので、職員間で不公平とならないよう、振替休日等が取得できる環境づくりに努めてください。

町民バスの現状

各種交付金の活用も

【調査結果概要】

現在、町が保有しているバスは、29人乗り2台（平成22・24年購入）、45人乗り1台（令和2年購入）、14人乗り1台（令和4年購入）

の4台で運行しています。運行日は月曜日から金曜日、乗車料金は100円、障がい者・生活保護者・70歳以上の免許自主返納者（1年間）・高校生以下が無料です。利用者二

ズ等を踏まえ、適宜見直しを行っています。なお、利用者数は年々減少傾向ですが、地理的条件など町民の移動手段を支援するため、継続的に運行するように進めています。



▲町民には欠かせない

【委員会意見】

バス車両4台のうち2台は、運行経路や乗車数などを調査し、更新時に乗車人数に見合った車両の導入を図っています。状況を適宜把握し更新を図ってください。

利用者が減少傾向にあることから、町民の

意見を組み入れながら利便性の向上策を検討してください。また、近隣市町や類似市町村も調査し、地理的条件や高齢化の進展を見極め、各種交付金などを活用しながら、町民が利用しやすい方策も検討してください。

産業建設教育常任委員会

調査日 2月13日

有害鳥獣処理施設利状況は適切な管理運営を

調査事項①

【調査結果概要】

川崎町鳥獣被害対策実施隊から協力を得ながら、緊急捕獲活動や侵入防止柵への助成等

を行い、駆除と防除の両面から被害対策に努めています。令和3年

度の有害鳥獣の捕獲数はイノシシ488頭、サル45頭、クマ7頭、シカ1頭という状況でした。

有害鳥獣処理施設の利用率は、イノシシ64%、サル91%、クマとシカが100%とい

う状況であり、全体では67%となっています。今後も、県や関係機関と情報共有・連携し、関係団体の協力を得ながら、わな・銃器による捕獲活動を推進していきます。



▲施設の調査も真剣にチェック

【委員会意見】

平成29年10月に有害鳥獣の解体処理施設として開設以来、令和3年度末までの処理数は1559頭と多くの処理に利用されてきました。施設の状況は、利用者の協力もあり、現在もきれいに保たれていました。引き続き、適切な管理運営に努めてください。

なお、利用者から出ている要望等は早急に改善が必要と思われるので、検討のうえ対策を講じてください。また、解体処理に使用する道具類等は、刃物等もあるため十分注意して保管してください。

町道の除雪対策は担当部局と協議検討を

調査事項②

【調査結果概要】

住民の生活基盤である道路の重要性を認識し、車・歩行者の安全そして迅速な作業を行うため、除雪計画書に基づき作業を行なっ

対象路線は町道及び生活道路等としていますが、冬期間に一般車両の通行が見込まれない路線や開発等で整備された民間所有の道路、私道は対象外としてい

ます。必要な機械等は、町所有分6台、リース分12台、業者持込分4台の計22台と十分に確保されて、きめ細かな対策が取られています。



▲除雪対策も万全

【委員会意見】

現在、少子高齢化が進み、高齢者世帯や独り暮らし世帯が増加している状況にあり、その一部の世帯では除雪の対象から外れている路線も見受けられます。担当課でも検討を始めていますが、緊急時には通路・道路の確保が

必要となることも考えられます。福祉の観点からも担当部局と除雪体制等の協議検討を進めてください。また、各行政区等で設立している自主防災組織と協議し、地域での除雪への協力体制が確保できるかなども検討してください。

かわさき 明日へのひと言



▲アイデアが活かせる仕事です

平らな紙から立体模型を作るペーパークラフト。動物や乗り物など、一般の人にも楽しめるとあって、ひそかな人気になっています。町内に在住しながらペーパークラフトの展開図制作をしている赤間達弘（作家名：赤間たつひろ）さんを紹介します。

立体把握の能力
Q ペーパークラフトの仕事は、想像力が必要だと思えます。始めた理由は何ですか。
A 大学院でロボット工学を学んだ経験から、立体把握の能力が求められるこの仕事を始めました。折り紙や切り絵など、さまざまな分野がありますが、ペーパークラフトを再現する制作をしています。



— 作品例 —

ネットを活用
Q 故郷での起業に不安などはありませんでしたか。
A 親の介護も理由の一つでしたが、インターネットを使えばどこでも打ち合わせができ、作品は宅急便ですぐに届けられます。実家での仕事に問題はありませんが、ネットを活用しています。
アート系作品を
Q 受賞歴を教えてください。
A 今年2月にコンテストで特別賞を受賞しました。さまざまな紙のジャンルを融合させ、ハイブリッドで抽象的なアート系作品のアイデアを考えています。



あか ま たつひろ
赤間 達弘さん(本荒町)

まちづくりに参加
Q 今後のまちづくりへの思いは。
A インターネットを活用すれば、町に住みながら生計がたてられます。若い人も創意工夫でまちづくりに参加して欲しい。
情熱をもって
Q 町や議会に望むことは。
A まちづくりの要点はコンセプトとビジョン(観点と展望)です。情性を排し、自身の内側からの情熱をまちづくりに注いでください。相乗効果でフオリティは上がっていきます。

この受賞で さらに意欲が

「議会情報便力ワサキ」228号が、県の議会広報選考会にて第1位「特選」を受賞しました。「特選」の受賞は前回応募以来4年ぶりとなります。



※県の議会広報選考会では、「特選」を受賞すると3年間応募できなくなります。

広報モニター
佐藤 達也さん

「明日へのひと言」登場
半田 岳人さん

特選受賞おめでとうございます。

協力いただいた方々

広報モニター
佐々木 和人さん

広報モニター
藤原 義信さん

身近な写真でも気になる形で提供したい。

今回の受賞に関わったことを誇りに思います。

提案型見出しが的確 審査講評(抜粋)

- 要望決議は議会役割が明確。
- 総括質疑は各委員の提案型・監視型の見出しと質問も短くわかりやすい。
- 一般質問は質問・答弁の提案型・監視型の的確な見出し、関連写真で読みやすい。
- 委員会報告の提案型の見出しは、調査結果が読者に的確に伝わっている。
- 住民の声は、リード、見出し、Q&A、関連写真が読者の目にとまり、編集スキルが高い。

研修レポート 新たな決意で

コロナ感染の影響で中止されていた「全国町村広報クリニック」が2月16日に東京で3年ぶりに開催されました。当町から8名の委員が参加しました。

町民登場の広報を

遠藤雅信委員

他町村の広報もそれぞれの特徴があり大変勉強になりましたが、当町の広報紙も見劣りしないと感じました。コンクール受賞の広報は町民登場が多い。今後町民を多く登場させていきたい。

町民の声聴く企画を

佐藤清隆委員

読んでもらえる紙面づくり、住民を巻き込んだ企画など、他町村の取り組みは参考になりました。今後町民参加の広報を目指し、町民の声を聴く企画や紙面を作っていきたい。

多様なニーズに応え

神崎安弘委員

当委員会での取り組みは過去の研修で習得した内容が網羅されていることから、方針が合致していることを再確認しました。議会への理解、関心を広げるため、町民の声を取り入れた幅広い世代の多様なニーズに応える広報づくりを目指します。



▲スキルアップを目指して

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※**次の会議は6月6日(火)～9日(金)**
一般質問は6月7日(水)・8日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は3月会議6人、ライブ中継は178アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL (0224) 84-2301

掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

町の風景



みなも 水面に映る桜

撮影場所: 釜房ダム

撮影: 議会広聴・広報委員会

表紙の説明「えがお まんかい!」

川崎小学校入学式にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん

議会映像配信

議会の様子が
ご覧いただけます。



発行: 川崎町議会
編集: 議会広聴・広報委員会

〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1
TEL (0224) 84-2301・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷: 株式会社津田印刷